

栃木の
土地
改良



水土里ネットとちぎは本会の愛称です。

第529号

令和3年度第2号



猿久保溜池(那須烏山市小塙)

那須烏山市の西部を流れる荒川の支流に位置し、農業用水の確保を目的として、水利用者共同により江戸時代に設置された施設で烏山小塙地域に広がる18.0haの水田を潤している。

以来、水利用者により維持管理されてきたが、現在は荒川南部土地改良区が管理主体となっており、県の農業用ため池、防災重点ため池に指定されている。

【とちぎため池保全サポートセンターを開所】

日時：令和3年7月21日（水）

午前11時30分～

場所：栃木県土地改良会館

県内に約530箇所ある農業用ため池の管理者に対し、適正な保全管理のための啓発並びに災害発生の未然防止を図るための技術的支援を行い、ため池の保全管理体制を強化することを目的として「とちぎため池保全サポートセンター」を本会事業部施設保全課内に開所しました。

開所式は、栃木県土地改良事業団体連合会の佐藤勉会長他役員、更には、ご来賓として栃木県農政部増田康則農村振興課長、和氣芳道農地整備課長ご臨席のもと執り行われました。

「とちぎため池保全サポートセンター」では、専門の技術者による相談窓口や現地の助言、技術指導等を行ないます。相談は無料ですので、お気軽に電話ください。地域の防災・減災へ役立てていただきため全力でサポートいたします。



左から田井副会長、和氣県農地整備課長、佐藤会長、見目副会長

『栃木県ため池保全協議会』を開催

日時：令和3年7月28日（水）

午後2時00分～

場所：栃木県土地改良会館

近年、集中豪雨により、農業用ため池や農地、農業水利施設に甚大な被害をもたらす災害が頻繁しており、農業用ため池の決壊による浸水区域の家屋・農地等への被害を未然に防ぐために、適切な保全管理が急務となっています。

- このような中、農林水産省は、農業用ため池の情報の把握と、国民の生命と財産を保護するため、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」、「防

災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」を施行しました。

本県においても、関係市町、県、栃木県土地改良事業団体連合会で構成する『栃木県ため池保全協議会』を設立し、ため池の適正な保全管理や防災対策の計画的な推進に向け、法律の適切かつ円滑な運用を図ることといたしました。

今後は、「**とちぎため池保全サポートセンター**」と連携し、適正な保全管理活動の支援、防災対策に関する課題の共有及び解決策の検討、並びに啓発及び情報発信を担って参ります。



富山会長（栃木県土地改良事業団体連合会事務局長）



対岸距離計測



堆積土測量

栃木の土地改良

第529号 | 令和3年度第2号

MAIN CONTENTS

トピックス

とちぎため池保全サポートセンターを開所
『栃木県ため池保全協議会』を開催

会議

◇令和3年度農業農村整備事業推進連絡会議を開催
◇「とちぎ水土里ネット女性の会」幹事会を開催

1
1

事業情報

○栃木県に農業農村整備事業の予算確保を要請
○農業農村整備事業の予算確保に向けた国への要請活動を実施
○農地バンク事業を活用した農地の集積・集約化に関する協定
○複式簿記会計ソフト操作説明会を開催
○令和4年度農業農村整備事業関係予算の概算要求について

2
3
4
5
6

人事異動

◇本会職員の人事異動<令和3年9月1日付>

7

会員情報

☆シリーズ土地改良区③水土里ネット高根沢
☆ほたるの里・猿久保田んぼ公園<荒川南部土地改良区>
☆逆木水神神社例祭<西鬼怒川土地改良区>
☆令和3年度 水土里レポーター

8,9
10
10
11

頑張る NewFace !!

女性参画 !!
高校生の就活 !! <職場見学>

12,13
14
14

竣工式

□大前堰改修揚水式

15

案内

○水土里ネットとちぎ職員採用試験のお知らせ【後期】
○令和3年度農業農村整備事業推進懇談会について
○令和3年度特別賦課金についてのお願い
○出前講座や会員向けホームページサービスを活用ください
○会員の変更について
○株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ
○第43回全国土地改良大会開催について

16
16
16
17
17
17
18



令和3年度農業農村整備事業推進連絡会議を開催

日時：令和3年7月14日（水）

午後2時00分～

場所：栃木県土地改良会館

県内における農業農村整備事業の着実な推進を図るため、令和3年度農業農村整備事業推進連絡会議を開催いたしました。会議には、栃木県から農村振興課、農地整備課の各担当GL並びに各農業振興事



南木専務理事挨拶

務所農村整備部長（安足農業振興事務所は、企画振興部長）14名が、本会から南木好樹専務理事並びに富山英幸事務局長をはじめ、各部課長など19名が出席いたしました。会議は、富山事務局長が座長となって進められ、令和3年度事業推進について、栃木県や本会の重点取組、また、事業推進に向けた要望等について協議され、活発な意見交換が行われました。



意見交換

「とちぎ水土里ネット女性の会」幹事会を開催

日時：令和3年7月13日（火）

午前10時30分～

場所：栃木県土地改良会館

去る令和3年7月13日、「とちぎ水土里ネット女性の会」幹事会を開催いたしました。新型コロナウィルス感染拡大により情報交換の場や活動が制限される中、私たちの持つコミュニケーション力を地域内または地域間でどう活かしていくか、私たちが



石川会長挨拶

考える農業農村整備事業について、また、土地改良区がかかえる課題について、意見を交わしました。

現在、全国22県の土地連を主体に「女性の会」が設立されており、農業農村整備事業に携わる女性職員同士のネットワークが広がっています。

ワクチン接種が進む一方、新型コロナ収束の兆しが見えない中ではありますが、私たち**とちぎNN女子力**を結集し、『土地改良の礎』をしっかりと継承していくことといたしました。



星野相談役



上山相談役



議事説明

栃木県に農業農村整備事業の予算確保を要請

日時：令和3年8月5日（木）

午前9時45分～

場所：栃木県庁、栃木県議会

本会及び栃木県土地改良事業推進協議会等関係6団体は、去る8月5日、福田富一栃木県知事、北村一郎栃木県副知事、末永洋之栃木県副知事、青柳俊明農政部長他担当課長等、阿部寿一県議会議長、佐藤良県議会副議長、琴寄昌男県議会農林環境委員会委員長、石坂太県議会農林環境委員会副委員長に対し、農業農村整備事業の予算確保を要請しました。



福田富一知事に要請書を手渡す田井副会長と同行者

要　請　書

本県の農業農村整備事業の推進並びに本会の業務運営につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、農業・農村を取り巻く環境は、農村の過疎化、農業従事者の高齢化や担い手不足による農地の荒廃、農業用施設の老朽化など非常に厳しい状況にあります。

この様な中、地域農業の維持・発展に向け、とちぎ広域営農システムの構築、次世代への円滑な農地の継承、担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換、ほ場の大区画化や汎用化、スマート農業に対応可能な基盤整備の推進が求められています。

加えて、気候変動による豪雨災害や大規模地震が頻発しており、農業水利施設等の防災・減災対策や計画的な保全管理が重要な課題となっています。

また、農地中間管理機構と連携した農地整備の推進や土地改良区の運営基盤の強化についても急がれています。

このため、水土里ネットとちぎ他5団体は、国並びに県が示した農政の展開方向を踏まえ、農業の成長産業としての発展に不可欠である農業農村整備事業の推進に向けて、下記の事項を要望いたしますので、ご配慮賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 事業を安定的・計画的に実施するため、地域の要望に十分応えられる予算を確保すること
- 農地中間管理機構と連携した農地整備事業や農地集積・集約化、高収益作物への転換、次世代型農業の実現に向けた基盤整備を積極的に推進すること
- 防災・減災に向け、農業水利施設の計画的な保全管理と田んぼダム等による雨水流出抑制対策を推進すること
- とちぎ広域営農システムの構築に寄与する多面的機能支払交付金活動の取組みを積極的に推進すること
- 改正土地改良法の適切な運用を図るため、複式簿記への移行後のフォローアップ及び資産評価に対する支援を行うこと

要請者団体名

栃木県土地改良事業団体連合会
栃木県土地改良事業推進協議会
栃木県土地改良事業団体連合会農業農村整備部会
農業農村整備を推進する会
栃木県農地多面的機能保全推進協議会
栃木県ほ場整備連絡協議会

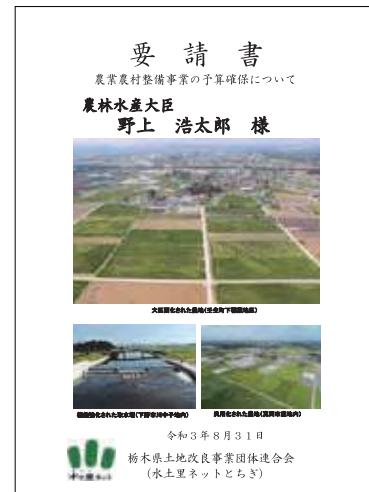
会長	佐藤	勉
会長	田哲	哲
会長	見匡	匡
会長	岡本	芳明
会長	佐藤	勉
会長	田井	哲

農業農村整備事業の 予算確保に向けた国への要請活動を実施

日時：令和3年8月31日（火）

本会及び栃木県土地改良事業推進協議会等関係6団体は、去る8月31日、農林水産省及び財務省並びに本県選出等の衆参国會議員に対して、農業農村整備事業の予算確保を求める要請活動を実施しました。

要請は、農林水産省政務3役、事務次官、大臣官房長、農村振興局幹部及び財務省政務3役、事務次官、大臣官房長、主計局幹部並びに本県選出等の衆参国議員に対し、書面（郵送）にて農業農村整備事業の予算確保を要請しました。



要請書

本県の農業農村整備事業の推進並びに本会の業務運営につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、農業・農村を取り巻く環境は、農業従事者の減少や高齢化による担い手不足や集落機能の低下、農業水利施設の老朽化の進行など非常に厳しい状況にあります。

このような中、本年3月に閣議決定された新たな「土地改良長期計画」及び本年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」の実現に向けては、担い手への農地の集積・集約化、水田の大区画化や汎用化、農業水利施設の適時適切な補修・更新及び省エネ化・再エネ利用等に取り組むことが極めて重要とされています。

加えて、気候変動等による頻発化・激甚化する豪雨、地震等の自然災害に備え、洪水被害防止対策やため池等の耐震化など農村地域の防災・減災対策を通じた国土強靭化にも積極的に取り組んで行く必要があります。

そのため、水土里ネットとちぎ他5団体は、農業の成長産業としての発展に不可欠である農業農村整備事業の推進に向けて、下記の事項を要望いたしますので、ご高配賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

記

- 農業農村整備事業を安定的・計画的に実施するため、地域の要望に十分応えられる予算を確保すること
- 農業の成長産業化を図るため、農地集積・集約化、高収益作物への転換、水田の畠地化、スマート農業の実装など次世代型農業の実現に向けた基盤整備を積極的に推進すること
- 農村地域の国土強靭化を図るため、農業水利施設の長寿命化、豪雨・耐震化対策等を一層推進すること。また、技術的・財政的支援を講ずること
- 改正土地改良法の適切な運用を図るため、複式簿記への移行後のフォローアップなど、土地改良区等の運営強化に対する必要な支援を図ること

要請者団体名

栃木県土地改良事業団体連合会
栃木県土地改良事業推進協議会
栃木県土地改良事業団体連合会農業農村整備部会
農業農村整備を推進する会
栃木県農地水多面的機能保全推進協議会
栃木県ほ場整備連絡協議会

会長	佐藤	藤井	勉哲
会長	見日本	明芳	匡明
会長	岡佐	藤井	哲
会長	田	井	

農地バンク事業を活用した 農地の集積・集約化に関する協定

日時：令和3年8月6日（金）

午前10時30分～

場所：東武ホテルグランデ

本会は、栃木県、公益財団法人栃木県農業振興公社、一般社団法人栃木県農業会議、栃木県農業協同組合中央会と農地バンク事業を活用した農地の集積・集約化に関する協定を締結しました。農政関連五団体での協定締結は全国でも先駆的な取り組みとなります。

協定締結式では、公益財団法人栃木県農業振興公社鈴木政明農地集積部長が本協定の趣旨説明を述べられた後、栃木県青柳俊明農政部長、公益財団法人

栃木県農業振興公社鈴木正人理事長、一般社団法人栃木県農業会議國井正幸会長、栃木県農業協同組合中央会菊地秀俊代表理事会長、本会佐藤勉会長の五者で協定書に署名いたしました。

この協定では、農地バンク事業を活用した農地の集積・集約化により、農用地利用の効率化、高度化を促進し、県の「とちぎ農業未来創生プラン」に掲げた、「令和7年度までに担い手への農地集積率80%」を目指し、関係五団体が一体となり取り組むことを目的としています。

今後、本会は関係四団体とともに農地バンク事業の積極的な活用、情報共有、意見交換などに取り組んで参ります。



左から、菊地代表理事長、國井会長、青柳県農政部長、鈴木理事長、南木専務理事

複式簿記会計ソフト操作説明会を開催

日時：令和3年5月25日（火）～27日（木）

午前の部 9時30分～

午後の部 1時30分～

場所：栃木県土地改良会館

去る5月25日から27日の3日間、それぞれ午前・午後の部と延べ6回、土地改良区会計担当職員61名を対象に、複式簿記本格導入に向けた操作説明会（実践）を開催いたしました。

今回の操作説明会は、収入支出命令書、振替命令書の作成など日々の取引に関する操作方法であったこともあり、参加者は熱心に取り組んでいました。



実際に操作する改良区会計担当職員の皆さん

「習うよりも慣れろ」のことわざにもあるように、積極的にソフト内の様々な機能を選択して使用してみることが重要です。

本会といたしましても、複式簿記会計サポートセンターにより、土地改良区等における複式簿記導入促進のための指導並びに支援を継続してまいります。



お知らせ

【複式簿記会計サポートセンター】

『令和3年度複式簿記導入促進特別研修』を、11月中旬に予定しています。詳細については、別途ご案内いたします。

令和4年度 農業農村整備事業関係 予算の概算要求について

○競争力強化・国土強靭化のための農業農村整備を計画的に推進するため、農業農村整備事業（公共）、農業農村整備関連事業（非公共）及び農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）を合わせて、5,263億円（対前年度比118.4%）を要求。

令和4年度概算要求

単位：億円

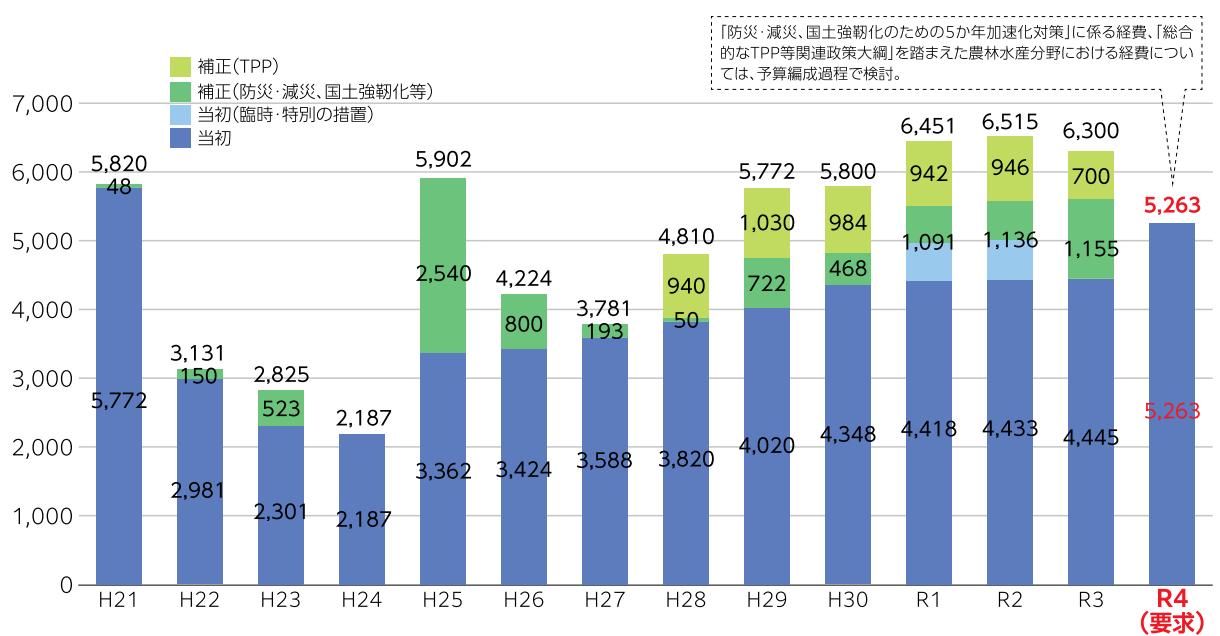
	令和3年度 当初予算額	令和4年度 概算要求額	前年度比
農業農村整備事業（公共）	3,333	3,946	118.4%
農業農村整備関連事業（非公共） 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金〕	518	625	120.6%
農山漁村地域整備交付金（公共） (農業農村整備分)	595	693	116.5%
計	4,445	5,263	118.4%

注1：計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

注2：デジタル庁計上の政府情報システム予算を含む。

農業農村整備事業関係予算の推移

単位：億円



本会職員の人事異動

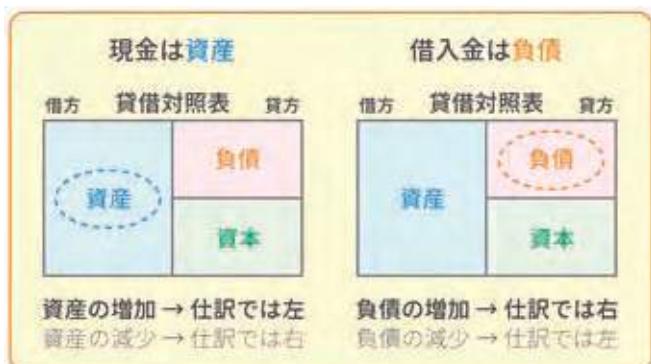
◆令和3年9月1日付け職員（敬称略）

【総務部】

総務課主幹兼複式簿記会計サポートセンター（同課主幹）	江面 憲治
総務課課長補佐兼複式簿記会計サポートセンター（同課課長補佐）	菊地 義則
総務課課長補佐兼複式簿記会計サポートセンター（同課課長補佐）	植木 美穂
総務課課長補佐兼複式簿記会計サポートセンター（同課課長補佐）	安部 未和
総務課嘱託兼複式簿記会計サポートセンター（同課嘱託）	高橋 克己
換地課副主幹兼複式簿記会計サポートセンター（同課副主幹）	高松 和人
換地課係長兼複式簿記会計サポートセンター（同課係長）	伊原 敦夫

【事業部】

情報管理課課長補佐兼とちぎため池保全サポートセンター（同課課長補佐）	豊田 修一
情報管理課副主幹兼とちぎため池保全サポートセンター（同課副主幹）	高田 雄一
農村整備課課長補佐兼県央・県南担当 TL 兼とちぎため池保全サポートセンター（同課課長補佐兼県央・県南担当 TL）	坂本 宜凡
農村整備課副主幹兼とちぎため池保全サポートセンター（同課副主幹）	岡本 功
施設保全課長兼とちぎため池保全サポートセンター長（同課長）	船山 訓男
施設保全課課長補佐兼とちぎため池保全サポートセンター副センター長（情報管理課課長補佐）	宮下 敬弘
施設保全課課長補佐兼とちぎため池保全サポートセンター（同課課長補佐）	倉井 佳益
施設保全課課長補佐兼とちぎため池保全サポートセンター（同課課長補佐）	土谷 和之
施設保全課副主幹兼とちぎため池保全サポートセンター（同課副主幹）	和氣 毅
施設保全課副主幹（総務部換地課副主幹）	佐藤 栄章
施設保全課嘱託兼とちぎため池保全サポートセンター（同課嘱託）	天川 幸人
測量課課長補佐兼とちぎため池保全サポートセンター（同課課長補佐）	大塚 芳明





シリーズ土地改良区紹介③

水土里ネット高根沢

高根沢土地改良区

地区の概要

本地域のある高根沢町は、栃木県のほぼ中央に位置する県都宇都宮市の北東 12Km にある農業地域です。

春の麗らかな季には、緑の大地と青い空がどこまでも続き、鰐雲が群れる秋季には、黄金を敷きつめた雄大な大地がそこに表れる高根沢。

「たんたん田んぼの高根沢」と歌われ、美味しいお米は町のリアルプライドで、皇室の台所と称される「御料牧場」があることでも知られています。また、肥沃な大地で作られた町の特産品には、にっこり梨、いちご、ぶどうなどがあります。

町の東側は八溝山系の丘陵が南北に重なり、町の地域振興の核となる「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」、西側には建築家として世界的に有名な隈研吾氏

が手掛けた「宝積寺駅舎」や「ちょっ蔵広場」があり、町の象徴的な建物として人気のスポットとなっています。また、宝積寺駅近くには「鬼怒グリーンパーク」があり、季節を彩る四季の花々を楽しむことができます。

当地区は近代産業の発展に伴い、今後の農業労働力の不足、担い手の高齢化等に鑑み、加えて農業生産性の向上を図るために農業近代化の指針に基づき、昭和 47 年度から平成 8 年度まで 26 年間に亘り、全国でも数少ない大規模圃場整備（面積 3,084ha）が実施されました。

当地区には、第一土地改良区から第二、第三の三つの土地改良区がありました。平成 8 年 10 月 1 日に高根沢土地改良区として合併し、現在に至っています。



道の駅たかねざわ 元気あっぷむら



JR 宝積寺駅東口 ちょっ蔵広場



野元川1号支線排水3号分水工(土地改良施設維持管理適正化事業で整備)



鬼怒グリーンパーク

維持管理について



当地区的用水源は、国営事業鬼怒川中部農業水利事業で整備された佐貫頭首工を取水源とし、市の堀用水、草川用水、更に水源流量が豊富な五行川、井沼川、野元川へ流下する地区内排水を用水として反復利用しています。

地区内には、用水路 480Km、排水路 275Km、水門 369 箇所の施設があり、組合員、総代、用排水調整委員等で、日々の維持管理に努め、更に土地改良施設維持管理適正化事業及び県単独農業農村整備事業並びに土地改良区単独事業で、各施設の補修整備を毎年実施しています。



御料牧場



豪雨で排水路に堆積したワラ等を撤去する小川理事長(緊急出動)



高根沢
土地改良区

高根沢土地改良区

所在地 〒 329-1217
栃木県塩谷郡高根沢町大字太田 750-1
TEL 028-676-3111 FAX 028-676-3138

土地改良区概要

設立年月日	平成8年10月1日	総代数	110名
許可番号	栃木第405号	理事数	20名
受益面積	3,003.9ha	監事数	3名
組合員数	2,217名	職員数	3名

ほたるの里・猿久保田んぼ公園 ~荒川南部土地改良区~

JR 烏山線沿いの猿久保田んぼ公園周辺において、生き物調査や蛍の観察会を平成 20 年から行っています。昨年と今年はコロナ禍により中止になりましたが、蛍をより多くの方に見ていただこうと、のぼり旗を作成して主要道路の交差点や猿久保田んぼ公園近



くの駐車場に立てたほか、当土地改良区のホームページでも情報発信しました。今年は今までになく沢山の蛍が舞い、6月上旬から中旬に多くの写真愛好家や家族連れが訪れ観賞することができました。



逆木水神神社(さかさぎすいじんじんじゃ)例祭～西鬼怒川土地改良区～

何百年もの昔、鬼怒川は宇都宮市の北部で東西に分かれており、このうち毎年のように洪水に見舞われていた西側に、栃木県の一大事業として山の岩盤を掘削し 2 本のトンネル水路（隧道）を作りました。これが「ハナメド洞門（通称）」と呼ばれているものです。



工事は明治 31 年 5 月完成し、これを記念して水神神社と記念碑が建立され、盛大な例祭が催されました。以後、毎年 5 月 15 日には関係者による例祭が続けられており、今後も先人の苦労と豊かな農業用水に感謝し絶やすことのないよう祈願しています。



令和3年度 水土里レポーター

水土里レポーターとは・・・

21世紀創造運動の更なる浸透や広報展開を図るため、地域の農村風景などの情報を全国に発信するため様々な活動をしているのが「水土里レポーター」です。

今年度は、ご覧の方々にご協力をいただいております。

(敬称略)

水土里ネット那須野ヶ原	専務理事	星野恵美子
水土里ネット荒川南部	事務局長	平野 育男
水土里ネット西鬼怒川	事務局長	小林 貞夫

『栃木の魅力』を発信
よろしくお願ひいたします!!



水土里レポート紹介

【投稿月日】令和3年7月15日

【タイトル】

水源林育成事業「皮むき間伐 きらめ樹体験～500年後の未来のために～」

【水土里レポーター】

水土里ネット那須野ヶ原 星野 恵美子

令和3年7月大雨の中、水土里ネット那須野ヶ原の水源林育成事業をサポートするため設立された「1000年の森を育てるみんなの会」の理事長が、静岡県富士宮市にてNPO法人森の蘇り主催の皮むき間伐の体験を行ってきました。皮むき間伐とは、桧や杉の樹皮を剥き、数年間かけて立ち枯れさせ、その後伐採するという間伐の方法で、子どもだけでなく大人でも楽しめ、専門的な技能が無くても関わることができる方法です。皮をむいた木材は1年～5年ほど山に放置し、木の含水率が20%程に下がったところで伐採を行います。含水率が下がり、運び出すのも比較的容易にできるという利点があります。当地の水源林の森の間伐に活用すべく期待が膨らみました。



また、このNPO森の蘇りでは製材工房も持っております、間伐した木々で床材や壁材等を製作しています。体験会では、この工房の技術指導までが一連のメニューとなっており、初めての工房作業に苦戦しながらも、床材を製作させてもらい、用水の安定供給のために始めた水源林育成事業の未来が拓けた感触を確認しました。

戦後の日本では、雑木林を木材に適したヒノキ、杉に植え替えていったが、コストの安い外国の木材が使われるようになり、森は放置されてきました。手入れの行き届かない森の木々は暗く、草花も育たず、動物も鳥も来ない荒れた森になっており、土石災害が発生する心配のある森は国土の4割にもなっているそうです。

しかしながら、日本では海の向こうの原生林を切り倒し輸入し続け、世界最大の木材輸入国になってしまっているのが現状です。日本の森を木材として利用することは、世界の森を守ることに直接つながるのです。



頑張る New Face!!

新人職員研修

講師 ビジネス教育訓練所(株) 佐藤晃樹 氏

日時：令和3年6月1日（火）午後1時00分～

場所：栃木県土地改良会館

マナー



この研修で、ユニークな訓練を受けたので紹介します。その内容は、講師の質問に対して例え正解が分からなくても手を挙げ、指名されたら元気よく答えるというシンプルなルールです。少し変わっているのは、「分かりません」や自信のない態度は絶対にNG。ハキハキと答えることができれば、デタラメな回答でも正解とみなされます。一見おかしなルールですが、とても盛り上がりました。今回の訓練は、普段自信のないことを聞かれると言葉が詰まってしまったり、語尾が小さくなったりする私に気づきを与えました。この対応は、相手からしてみれば気持ちのよくないものだったと思います。これからは頭のなかで素早く内容を整理して、ハキハキと話せる人になりたいです。もちろん、実生活ではデタラメな回答はせずに、誠意のある対応を心がけていきます。（総務課 角田）

現地研修

日時：令和3年6月17（木）、24（木）、25日（金）午前9時00分～

測量：下野市町田地区 設計・積算：栃木県土地改良会館

本会農村整備課職員による、「測量・設計・積算」について実務研修が行われました。本会新規採用職員に加え、栃木県の新規採用職員も参加し、現地踏査から測量、更には構造物計算や積算システムまで、一連の作業工程を実際に体験しました。

測量・設計・積算の研修に参加

先日、測量・設計・積算の研修に参加いたしました。配属先が施設保全課のため、道路の測量や設計、積算は初めての事ばかりで、多くの事を学べたと同時に業務の難しさを痛感しました。また、実際に利用する人がいかに通りやすい道になるのか考え、より良いものを作り上げることは大きな達成感に繋がると研修を通して感じました。測量や設計、積算だけでなく今年は研修により他の課の業務を経験することができる所以、その際には積極的に業務に取り組み、どんどんできる事を増やしていく様に引き続き頑張りたいと思います。（施設保全課 高野）



測量・設計・積算の実務演習を体験

3日間にわたって、実際に測量・設計・積算を行う演習を実践してきました。担当業務では行わない演習が多く戸惑うことも多々ありました。例えば、設計をする際、計画線などをどう引くか等です。躊躇したときは先輩方の温かいフォローで解決し、無事完遂させることができました。この演習により、普段では見ることができない視点から自分の業務を眺めることができたので、その点を今後に生かしていきたいと考えています。（情報管理課 大野）



諸先輩との交流会

終始、和やかな雰囲気で!!

日時：令和3年7月1日（木）午前10時00分～

場所：栃木県土地改良会館

先輩

先輩職員との交流会を行い、自分自身が入社してから感じたことや先輩方がこれまでに体験したことなど、貴重な時間を頂くことができました。中でも、先輩方との質疑応答の時間では、私の質問に対して今までの経験をもとにわかりやすく答えてください、今後の業務につながるアドバイスを頂くことができました。今回の研修で学んだことを、今後に活かせるように努力していきたいと思います。（農村整備課 熊倉）

交流会を行うまで、新規採用職員の顔と名前程度しか分かっていなかったので、みんなの経験から趣味までも知れて良い機会となりました。私が採用されて仕事にも職場環境にもまだ慣れず不安だったころ、廊下などで会った時にはよく皆さんに話しかけてもらい嬉しかった事を思い出します。後輩職員にも同様に接してつながりを持っていきたいと思いました。

（測量課 渡邊）

先輩

普段の業務における各々の態度や想いについて、先輩職員と後輩職員の双方で貴重な意見交換をすることが出来ました。普段は聞くことのできない後輩職員の、業務を行う上での不安や戸惑い等の初々しい声を耳にし、自分が新人であった頃を懐古しました。まだまだ未熟ですが今後は先輩としての自覚を持って、後輩達の良き道標になれるよう努めていきたいと思います。（施設保全課 半田）

先輩方の体験談やアドバイスなど、普段ではなかなか聞けないお話を聞くことができ、大変勉強になる一日でした。スピーチの時間では、初対面の先輩方もいたので少し緊張しましたが、先輩方が明るく喋りやすい雰囲気してくれたので、思っていることや、今後の目標などを赤裸々に話し合うことができました。この交流会で学んだことを糧に、一人前の社会人になれるように頑張りたいです。（農村整備課 鈴木）



農業収穫体験を実施

日時：令和3年7月15日（木）、26日（月）午前9時00分～

場所：栃木県宇都宮市新里町「とちぎ夢アグリ」農場

県OBの皆さん
お世話になりました!!

7月中下旬に、新規採用職員を中心にじゃがいもの収穫など、農業収穫体験を行いました。土の感触や収穫した多くのじゃがいもの重みなど、日常生活では中々感じる機会がない農作業の楽しさや大変さを肌で感じることができました。（農村整備課 大堀）



女性参画 !!

P1 「とちぎ水土里ネット女性の会」幹事会を開催 関連

2021年度からの第5次男女共同参画基本計画で、2025年度までに**女性理事10%**という数値目標が掲げられました。本県においても、2021年度からの5か年において、『第5期とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン』が策定され、女性の意識と能力向上はもとより、男性の意識改革を行動に繋げる取組み並びにワーカーライフバランスの推進、更には、魅力ある農村に向けた男女共同参画社会の形成が推し進められています。

そのような中、10月6日付け日本農業新聞に、那須野ヶ原土地改良区連合星野恵美子専務理事の記事が掲載されました。



男女とも自信と誇りを持ち、互いに認め合い、自己実現を図っている
(農業者個人)



仕事と生活の調和が保たれ、個々の能力が発揮されている
(生活・経営)



誰もが住みよさを実感できる
豊かで魅力ある農村が実現されている
(農村社会)



水土里ネット
とちぎへようこそ



水土里ネットの
役割について知ろう

高校生の就活!! <職場見学>

日時：令和3年7月28日、8月2、3、25日の4日間 午前9時00分～

場所：栃木県土地改良会館

県内の高校生 21 名が 1day インターンシップに参加してくれました。本会の概要説明を受けた後、3 班に分かれてそれぞれの課を訪問し、先輩方から仕事内容の説明を受けました。みなさん真剣な表情で、メモを取ったり、質問をするなど、実際の職場を見ながら話を聞くことで、各課の仕事内容の違い、職場の雰囲気を実感することができたと思います。

本会の職場見学に参加したことが、生徒皆さんのが「社会人としての一歩」のお役に立てれば光栄です。

大前堰改修揚水式

日時：令和3年4月29日（木）

午後2時00分～

場所：真岡市内（一級河川五行川大前堰）左岸

県営農業用河川工作物応急対策事業「穴川用水大前堰地区」は、平成28年度の計画策定から6年に渡り、この度でたく竣工の運びとなり、去る4月29日、津浦好一栃木県芳賀農業振興事務所長をはじめ多くのご来賓をお迎えし、穴川土地改良区連合（齋藤修次郎理事長）主催による揚水式が挙行されました。

大前堰と穴川用水は、真岡市から茨城県筑西市の一部を含む約1,300haの農地へ農業用水を供給する施設であり、防火用水や地下水涵養等の役割も担っています。堰の設置や用水路が築造された時期は不明ですが、江戸時代後期の二宮尊徳による用水

路改修等もあり歴史的な農業用水利施設です。昭和38年の五行川河川改修に伴いゲート式の堰となりましたが、老朽化に伴い施設機能の保全を図る全面改修が必要となりました。

神事では、竣工された堰の操作が揚水の儀として執り行われるなど、出席者の皆様に披露され、齋藤理事長の式辞に続き、本事業に関わった工事施工業者2社に対し、感謝状が贈呈されました。引続き来賓である佐藤勉水土里ネットとちぎ会長、嶋田寛真岡市副市長、石坂太大前堰と五行川の恵を紡ぐ会長、津浦好一芳賀農業振興事務所長、中澤真弘真岡警察署地域課長から祝辞、松本茂真岡土木事務所長の神酒拝戴の後、受賞2社から謝辞があり、滞りなく終了いたしました。

◇事業概要◇

事業名

県営農業用河川工作物応急対策事業（国補助：農村地域防災減災事業費）

事業内容

ゲート設備改修（自動転倒式 幅18.5m×高さ1.6m×2門）及び堰本体（エプロン等）の補強、護床改修

総事業費

3億1千万円 ※計画策定費除く

受益面積

1,245ha（真岡市：1,020ha、筑西市：225ha）

主な経過

- ・計画策定 平成28～29年度 ・実施設計 平成30～令和3年度
- ・河川協議 平成30～令和3年度
- ・第1期工事（右岸側の改修） 令和元～2年度 ・第2期工事（左岸側の改修） 令和2～3年度



職員採用試験

本会は、下記の通り令和4年4月採用に向け職員採用後期試験を実施いたします!!

日時：一次試験 令和3年10月24日（日）※高校新卒は、午後、面接試験を行います。

二次試験 令和3年11月中旬

場所：栃木県土地改良会館会議室（宇都宮市平出町1260番地）



未来の「農業」を支えるのは君だ!!

詳細は、本会ホームページをご覧ください。

<https://www.tcgoren.or.jp/>

令和3年度農業農村整備事業推進懇談会について

例年6月に開催しております「農業農村整備推進懇談会」は、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、時期を見送ることといたしました。開催時期については別途ご案内いたしますので、ご理解のほど宜しくお願ひいたします。

令和3年度特別賦課金についてのお願い

本会では、対象事業年度の総事業費を基本に特別賦課金を算定し、令和4年3月に賦課徴収をお願いすることとしています。対象事業を実施している会員の皆さんにおかれましては早めの予算措置をお願いいたします。



①賦課対象者	農業農村整備事業（県営・団体営・県単）のハード事業を実施する事業主体（会員）を基本としますが、県営事業等における特別賦課金の賦課については、事業主体であるか否かということよりも、「土地改良事業を実施したことによる利益」の享受に視点をおいて徴収基準を定めていることから、管理主体に賦課をお願いしています。
②対象地区	当該会員の地区内で行われる土地改良事業に係る土地。
③対象事業	農業農村整備事業のほか建設土木、建築等の多岐にわたる。

荒川南部・西鬼怒川土地改良区が
開設しています !!

出前講座や会員向けホームページサービスを活用ください

本会では、土地改良区の役職員等を対象とした
出前講座や会員の皆さまが気軽にホームページを
開設出来るよう、導入費・維持費共に安価にて提
供、サポートしています。詳細は、総務部総務課
まで！



会員の変更について

～本会会員の皆さんへ～

- ① 住所
 - ② 会員名および代表者名
 - ③ 電話番号
 - ④ 受益面積 の変更がありましたら、



委 更 届		署 名 欄
		年 月 日
新木戸地改修事務組合会員様		
会 員 署 名 所		
地 址 姓 名 代表者職名 (印)		
車 用 おもむって届出項目に要更りかいたので、下記のとおり		
公 用 の 使 用	車 用	否
公 用 車	○	
代 行 車 用	○	
空 乗 車 用	○	
載 送 車 用	○	
△ A X 用	○	
重要事項記入欄(この点は必ず記入下さい)		
請 事 (請 事 内 容 に 合 意 す る ま で は 本 件 を 送 不 す ま し)		
相手先住所		
郵便番号	(<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>))
所在地名	(<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>))
詳細な住所	(<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>))

その都度「変更届」のご提出をお願いいたします。
様式については、本会ホームページに掲載しております。

<https://www.tcgdoren.or.jp/>

◇連絡先◇

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会） 総務部総務課

電話番号：028-660-5701 FAX：028-660-5711

株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ

農業基盤整備資金の金利

令和3年9月21日付で、農業基盤整備資金の金利が次の通り改定されました。

金利情勢によって変動いたしますので、最新の金利は宇都宮支店にお問い合わせいただくか、金融公庫ホームページでご確認ください。

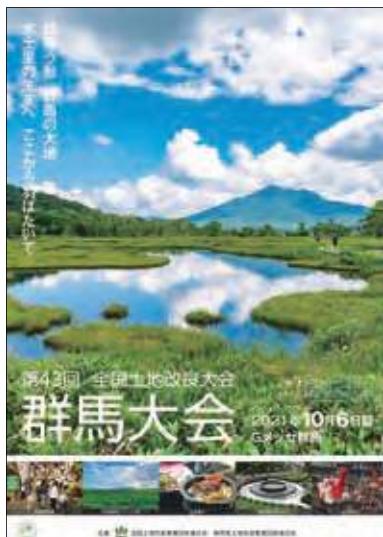
区分	融資期間に かかわらず	融資期間（一例）			
		5年	10年	15年	20年
都道府県栄補助 残	0.35	—	—	—	—
団体営補助残	0.20	—	—	—	—
非補助一般	0.20	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.20	—	—	—	—
災害復旧	—	0.16	0.16	0.20	0.20

お問い合わせ先：

株式会社日本政策金融公庫
宇都宮支店 農林水産事業
農業食品課
TEL 028-636-3901
<https://www.ifc.go.jp/>

日本公庫 検索

10月6日（水） 第43回全国土地改良大会（群馬大会） オンラインにおいて開催



松義台地（視察予定地）



Gメッセ（大会会場）



Gメッセだるま

PRグッズ紹介 !!

PRとは？



パブリックリレーションズの略、直訳は「公衆との良い関係づくり」のこと。

私たち、水土里ネットの役割である、「地域の水土里を守り育て未来に繋ぐこと」を

イメージして今回、**箱ティッシュ**を作成いたしました。

